

<p>学習課題</p> <p>ディベートにチャレンジ！</p> <p>話し合い名人になろう</p>	<p>主張とは 自分の意見を言うこと</p> <p>立論とは 議論の筋道を組み立てること</p> <p>・ディベートをやってみよう</p> <p>・話し合い方を知りたい</p> <p>・話し合いが上手になりたい</p>	<p>述べ方</p> <p>・意見や感想、疑問などを自由に述べる</p>	<p>形式</p> <p>自由</p> <p>一人一人</p>	<p>身近な生活について討論しよう</p> <p>めあて</p> <p>討論の仕方について知り、学習課題を決めよう</p> <p>「フリートーク」と「ディベート」のちがいは？</p>
	<p>話し合いの技</p> <p>主張</p> <p>理由や根拠</p> <p>・経験から</p> <p>・資料を準備して</p>	<p>話し合いの型</p> <p>ルールにそって</p> <p>立論 反論 結論</p> <p>「賛成側」「反対側」二つの立場に分かれて</p>		

1 / 12 時間目 指導略案 ワークシート 資料 「ディベートについて知ろう」

活動のねらい

話し合いの仕方の違いから、学習課題を決定することができるようにする。

1 フリートークを行う。

「学校昼食は、給食と弁当のどちらがいいか」というテーマで自由に考えたことを発言させる。

* 児童には、自分がどちらの立場かを自由に意見交流させるようにする。

* ビデオがあれば、事前にビデオに記録し、自分たちの話し合いの様子を振り返らせると、モデルビデオとの比較がしやすい。

2 同じテーマでのディベートのビデオを見て、話し合いの仕方について、同じ点・違う点について話し合う。

フリートークとディベートの話し合いの様子を比べさせ、気付いたことを話し合いながらディベートの特性についてまとめる。

・二つの立場に分かれて

・ルールにそって順序よく

・理由や根拠をはっきりさせて

資料を参考にし、ディベートの大体について確認する。

「ディベートをしてみたい」「ディベートができるようになりたい」という興味

・関心を喚起する。

* ビデオがない場合は、資料を使ってディベートの大体をつかませる。実践の資料を参考に、実態に合わせて進め方や役割の人数をあらかじめ決めておくことよい。

3 学習課題を決める。

計画的な話し合いの中での「言い方」にも注目させ、ディベートという「話し合いの型」を学ばせるとともに「話し合いの技」を使うことよさに気付かせる。

学習課題を何にするか、全体で話し合い、決定させる。

《学習課題》 ディベートにチャレンジ！話し合い名人になろう

評価 話し合いの仕方の違いを見付け、学習課題を決めるために、積極的に話し合っている。

4 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

次時は、学習課題を基に学習計画を立てることを知らせる。